

京丹波町の令和元（2019）年度温室効果ガス排出量について

1. 温室効果ガスの総排出量

2019年度の温室効果ガス排出量は、92,795t-CO₂であり、前年度（2018年度）に比べて5.5%の減少、基準年度（2013年度）に比べると33.4%減少しています。

表1 温室効果ガス排出量(物質別)

単位：t-CO₂

物質	年度	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019(R1)			
								排出量	割合(%)	前年度比 (%)	基準年度 比(%)
二酸化炭素 (CO ₂)		124,347	109,324	104,306	103,548	94,695	83,935	79,089	85.2	-5.2	-32.5
メタン (CH ₄)		11,020	10,500	10,260	10,150	9,740	10,000	9,350	10.1	-0.7	-1.2
一酸化二窒素 (N ₂ O)		3,910	4,180	4,400	4,010	4,340	4,000	4,356	4.7	0.4	0.3
合計		139,277	124,004	118,966	117,708	108,775	97,935	92,795	100.0	-5.5	-33.4
1人あたり排出量(t-CO ₂ /人)		8.74	7.97	7.80	7.90	7.47	6.87	6.66	-	-3.2	-23.8
京丹波町の人口(人)		15,939	15,555	15,245	14,903	14,559	14,246	13,928	-	-2.3	-12.6

- 注) 1. 四捨五入の関係で、合計と内訳の合計が一致しない場合があります。
 2. 二酸化炭素排出量の算定における電気由来の排出量の算定には、基礎出係数を適用しています。

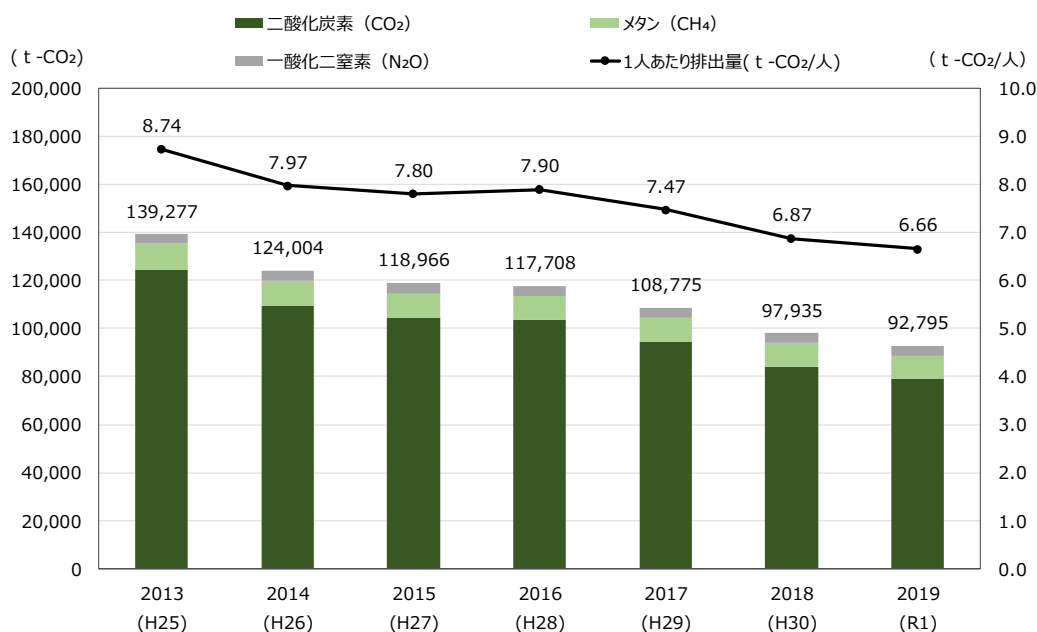


図1 温室効果ガス排出量(物質別)及び一人当たりの排出量の推移

2. 物質別排出割合

令和元年度（2019年度）の物質別の排出割合は図2に示すとおりです。

二酸化炭素（CO₂）が全体の85.2%を占めており、メタン（CH₄）10.1%、一酸化二窒素（N₂O）4.7%の順となっています。

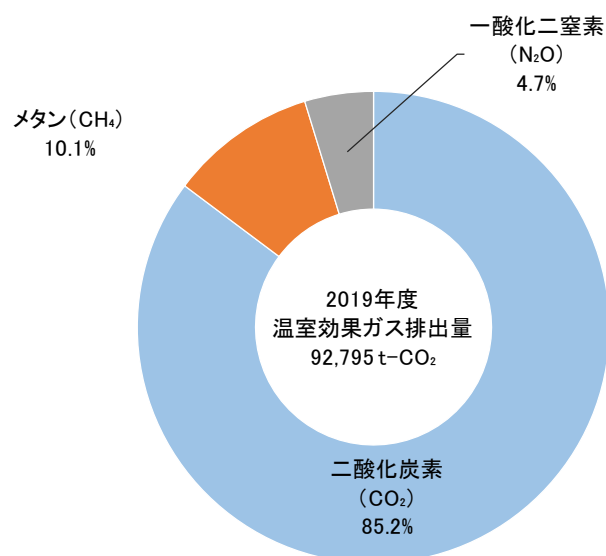


図2 温室効果ガス排出割合（物質別）

3. 部門・分野別排出割合

令和元年度（2019年度）の部門・分野別の排出量は表2及び図3に示すとおりであり、運輸部門が最も多く、次いで産業部門、業務その他部門、家庭部門、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、廃棄物分野となっている。

前年度（2018年度）との比較では、一酸化二窒素（N₂O）については増加しており、それ以外の項目は減少しています。基準年度（2013年度）との比較では、廃棄物分野、一酸化二窒素（N₂O）については増加しており、それ以外の項目では減少しています。

表 2 温室効果ガス排出量(部門・分野別)

単位：t-CO₂

項目及び部門・分野			2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019(R1)			
									排出量	割合(%)	前年度比 (%)	基準年度 比(%)
二酸化炭素 (CO ₂)	エネルギー起源	産業部門	46,757	34,859	33,725	34,543	32,014	28,301	26,674	28.7	-1.8	-14.4
		業務その他部門	21,830	21,660	19,130	18,400	15,490	13,280	11,969	12.9	-1.4	-7.1
		家庭部門	18,870	17,540	16,520	16,170	14,070	10,430	10,095	10.9	-0.4	-6.3
		運輸部門	36,151	34,955	34,460	33,856	32,391	30,584	29,371	31.7	-1.3	-4.9
	非エネルギー起源	廃棄物分野	740	310	470	580	730	1,340	980	1.1	-0.4	0.2
メタン (CH ₄)			11,020	10,500	10,260	10,150	9,740	10,000	9,350	10.1	-0.7	-1.2
一酸化二窒素 (N ₂ O)			3,910	4,180	4,400	4,010	4,340	4,000	4,356	4.7	0.4	0.3
温室効果ガス排出量			139,277	124,004	118,966	117,708	108,775	97,935	92,795	100	-6	-33

注) 1. 四捨五入の関係で、合計と内訳の合計が一致しない場合があります。
 2. 二酸化炭素排出量の算定における電気由来の排出量の算定には、基礎係数を適用しています。

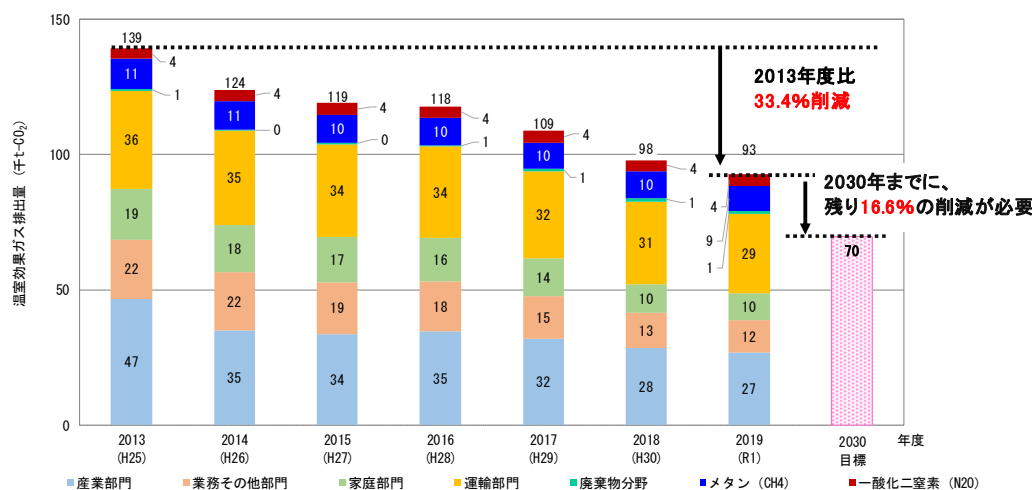


図 3 温室効果ガス排出量割合 (部門・分野別)

4. 目標年次との比較

「京丹波町地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)」では、温室効果ガス排出量の削減目標として、「2030 年度に基準年度 (2013 年度) 比で 50%以上削減」を掲げています。令和元年度 (2019 年度) の排出量は、92,795 t-CO₂ であり、目標達成にはあと 16.6%の削減が必要です。